

ふくいの環境

令和5年度版



福井市

はじめに

本書は、令和4年度の福井市の環境について、その概要をまとめたものです。詳細なデータ等につきましては、福井市環境政策課のホームページに「ふくいの環境 資料編」を掲載します。どうぞ、ご利用ください。多くの皆様方にご活用いただき、環境問題や環境行政に関する理解を深め、環境の保全と創造に向けた活動の一助となれば幸いです。

目次

はじめに・目次.....	1
第1部 特集 令和4年度のトピックス.....	2
1 (一社)福井県産業資源循環協会と災害時の応援協定を締結しました.....	3
2 3年ぶりの環境フェア開催.....	4
3 FUKUI2050 脱炭素ワークショップ開催.....	4
第2部 第4次福井市環境基本計画.....	5
1 第4次福井市環境基本計画.....	5
2 進捗状況.....	6
3 福井市環境推進会議の活動実績.....	8
第3部 福井市の環境状況.....	10
1 自然環境.....	10
2 地球温暖化.....	11
3 環境教育・啓発.....	12
4 大気.....	13
5 公共用水域の水質.....	16
6 地盤沈下.....	17
7 騒音.....	18
8 化学物質.....	19
9 ごみの排出と処理状況.....	20
10 美しいまちづくり.....	21

ご案内

第1部 特集 令和4年度のトピックス

1 (一社) 福井県産業資源循環協会と

災害時の応援協定を締結しました



災害時に大量に発生するがれきなどの災害ごみを円滑に処理するため、令和4年5月12日(木)、産業廃棄物処理業者等で構成される「一般社団法人 福井県産業資源循環協会」と災害時の応援協定を締結しました。

協定の内容は、災害廃棄物の処理(撤去、収集・運搬、分別、処分)に伴い必要な事項となっており、今後、災害ごみの仮置場等において、廃棄物の処理等に精通する協会のご支援をいただけることに対し、大変心強く思います。

2 3年ぶりの環境フェア開催



毎年行っていた環境フェアは、新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続で中止を余儀なくされておりましたが、今年度3年ぶりに開催を行いました。

福井市環境推進会議や会員事業者の環境に関する取組や課題について分かりやすく市民に啓発するため、地球温暖化対策、自然環境の保全、ごみ削減など、環境をテーマにした様々な参加型企画やパネル展示等を催し、市民に対して広く環境保全に対する意識の向上を図りました。

3 FUKUI 2050 脱炭素ワークショップ開催



若年層及び青年層を対象に、地球温暖化や気候変動について学び、2050年における福井市の姿を考えるワークショップ及び成果発表会を開催しました。

1 (一社) 福井県産業資源循環協会と 災害時の応援協定を締結しました

1 災害時の応援協定を締結しました

災害時に大量に発生するがれきなどの災害ごみを円滑に処理するため、令和4年5月12日(木)、産業廃棄物処理業者等で構成される「一般社団法人福井県産業資源循環協会」と災害時の応援協定を締結しました。

当日は、東村市長、谷崎会長のほか関係者が出席し、市役所内の庁議室にて締結式を行いました。

今後、災害ごみの処理において、廃棄物の処理等に精通する協会のご支援をいただけることに対し、大変心強く思います。



谷崎会長(写真左)と協定書を取り交わしました

2 協定の内容

(1) 災害時の協力内容

- ・災害廃棄物の処理(撤去、収集・運搬、分別、処分)に伴い必要な事項
(例: 一次仮置場・二次仮置場の管理運営、一次仮置場から二次仮置場への搬出、二次仮置場での選別等)

(2) 平常時の体制整備

- ・平常時から連絡体制を整える
- ・協会員が保有する人員、車両及び資機材等の数量をあらかじめ共有する

○災害廃棄物の処理フロー



2 3年ぶりの環境フェア開催

福井市では、市民に対して広く環境保全に対する意識向上を図るため、「環境フェア」を開催しています。

地球温暖化対策、自然環境の保全、ごみ削減など、環境をテーマにした様々な参加型企画や、福井市環境推進会議会員団体および事業者の環境に関する取組や課題についてのパネル展示等を通し、市民の環境保全意識の向上に広く貢献しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続で中止を余儀なくされておりましたが、今年度は3年ぶりに開催しました。

雨水から作られた「あまみずドリンク」のふるまいを行い、子ども向けに体験コーナー（ものづくりワークショップやキッズバイク体験）を設けるなど、環境に触れ、体験し、考えてもらうきっかけを提供する場としました。



3 FUKUI 2050 脱炭素ワークショップ開催

若年層及び青年層を対象に、地球温暖化や気候変動について学び、2050年における福井市の姿を考えるワークショップ及び成果発表会を開催しました。

第1回（10/15）	「福井県版気候変動ミステリーカード」を使用して、気候変動に関する基礎知識を学ぶグループワーク
第2回（10/22）	第1回の知識をもとに、福井市を3分野に分けて分析し、2050年における福井市の将来像を描くグループワーク
第3回（11/3）	描いた将来像を福井市環境フェア内で発表する成果発表会



第2部 第4次福井市環境基本計画

1 第4次福井市環境基本計画

福井市環境基本計画とは

本市では、良好な環境の保全と創造のための施策を総合的かつ計画的に進めていくため、平成12年度に福井市環境基本計画を策定しました。以降、社会情勢の変化や環境の現状と課題、国の動向などを踏まえて、平成23年度、平成28年度に改定を行ってきました。

令和3年度の改定では、さらに「持続可能な開発目標（SDGs）」の考え方も取り入れ、「目指す環境像」の実現に向けた政策や指標の設定等を見直しました。

計画の期間

令和3年度から令和7年度までの5年間

計画の基本方針

＜目指す環境像＞

未来へつなごう 環境にやさしい持続可能なまち・ふくい



基本方針

— 全員が協力して計画を推進します —

1. 豊かな自然や生き物を守り育て、将来に伝えます
2. 快適な暮らしを守り、水と緑が豊かな都市環境を創出します
3. 温室効果ガスの排出を減らし、気候変動の影響に適応した社会づくりを進めます
4. ごみを減らし、資源を大切にす循環型社会づくりを進めます
5. 市民・市民組織・事業者・行政が、共に環境を考え、共に行動できる人づくり・まちづくりを進めます

「持続可能な開発目標（SDGs）」との関係

平成27年に国連が採択した2030アジェンダは、「環境」「経済」「社会」に関わる17のゴールと、このゴールに関連した169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」を、世界共通の達成目標として掲げました。そして、SDGsのゴールを達成するためには、あらゆる関係主体のパートナーシップの促進が必要であると宣言しました。

本市においても、市民、市民組織、事業者など、あらゆる関係主体とのパートナーシップを促進し、「環境」という側面における個々の課題を解決することにより、あわせて「経済」「社会」といった複数のSDGsのゴールの達成に貢献（マルチベネフィット）していくことを目指します。



2 進捗状況

※ 発行時以降、データを修正する場合があります。

1 自然環境



施策① 自然環境の保全と再生

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
福井市の優れた自然の調査実施数 (力所)	8	2	4	-	-	-	累計 10
間伐面積 (除伐面積含む) (ha)	1,624	421	817	-	-	-	累計 2,000

施策② 協働による里地・里山の利活用

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
足羽山どんぐりプロジェクト育苗協力学校数 (校)	-	10	20	-	-	-	累計 50
環境ボランティア制度登録者数 (人)	193	263	312	-	-	-	累計 430



2 生活環境・都市環境



施策① 生活環境の保全

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
大気、水質 (河川・海域) における環境基準達成率 (%)	100	100	100	-	-	-	100
大気、水質等におけるダイオキシン類の環境基準達成率 (%)	100	100	100	-	-	-	100
有害大気汚染物質の環境基準達成率 (%)	100	100	100	-	-	-	100
汚水処理人口普及率 (公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽) (%)	96.4	97.5	98.3	-	-	-	100

施策② 都市の水と緑の保全と創出

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
都市公園面積 (ha) ※	380.26	-	-	-	-	-	385.91
都市環境美化活動団体数 (団体)	74	78	81	-	-	-	92

※ 5力年で継続的に整備を進め、供用開始をもって目標の達成となります。

3 地球温暖化対策・エネルギー



施策① 家庭や事業所などにおける省エネルギーの推進

環境指標	現状 (R元)	R3 (速報値)	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
福井市における温室効果ガス排出量 (千 t-CO ₂ /年) ※	2,171	2,053	-	-	-	-	1,954 以下
年間エネルギー消費量 (百万 MJ/年) ※	31,444	33,591	-	-	-	-	28,928 以下
クールチョイス賛同者数 (人)	8,740	10,524	12,411	-	-	-	累計 18,000

※ R3 の数値は、国の R3 年度分都道府県別エネルギー消費統計等 (速報値) を基に算出。
確定値及び R4 年度分都道府県別エネルギー消費統計等は、令和 6 年中に公開見込み。

施策② 環境負荷の少ない交通環境の構築

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
公共交通機関の乗車人数 (万人/年)	895	738	819	-	-	-	902

4 廃棄物・資源循環



施策① ごみの発生抑制と資源循環の推進

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
市民 1 人 1 日あたりのごみ排出量 (g)	892	855	843	-	-	-	850 以下
燃やせるごみへの資源物混入率 (%)	22.4	22.7	26.6	-	-	-	21 以下
ふくいマル優エコ事業所登録数 (社)	45	57	62	-	-	-	70

5 環境教育・環境学習



施策① 環境教育の推進

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
福井市環境学習プログラム取組校 (年/校)	69	69	69	-	-	-	69 (市立幼小中学校)

施策② 多様な主体による環境学習の推進

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
環境学習会参加者数 (人)	7,196	1,985	4,516	-	-	-	10,000
市民・事業者・行政などが協働した環境取組数 (回/年)	3	18	19	-	-	-	15

3 福井市環境推進会議の活動実績



福井市環境推進会議の 令和4年度の活動実績

福井市環境推進会議について

「福井市環境基本計画」を推進するため、市民、市民組織、事業者、行政により構成され、環境保全意識の向上に関する事業を協働で実施しています。

構成：総会、理事会（役員17名）、3部会

会員：63企業・団体、5個人（令和5年9月末日現在）

共通事業

●福井市環境フェア

「環境にやさしい持続可能なまちふくい」をテーマに、地球温暖化対策、自然環境の保全、ごみ削減などに関する様々な参加型企画やパネル展示を行い、市民の環境意識の向上を図りました。



●三部会連携事業

環境啓発に関する動画を作成する「ふくいの環境#CMコンテスト」を開催しました。最優秀作品は、環境政策課YouTubeチャンネルでの配信や、ハピテラス大型ビジョンで投影を行い、市民の環境保全意識の啓発を図りました。



自然創造部会

●守り伝えたい自然の保全活用

文殊山で野鳥観察会を行いました。
また、高田町（鳴瀧不動尊等）や一乗谷朝倉氏遺跡などの各所をめぐり、本市の守り伝えたい自然を観察しました。

●足羽三山の生態系保全

「足羽三山の SATOYAMA を守る会」と連携し、足羽山の竹林整備を行うなど里山保全活動に努めました。
足羽山竹林整備で伐採した竹材は、環境フェアで工作を行うブースや、環境教育部会で行われたみんなの環境学習でミニ門松の制作に利用しました。

●自然ファンクラブ事業

自然環境保全に関する知識や技術習得のための学習会等を開催し、活動への積極的な参加を促し、人材育成を行いました。

●福井市のすばらしい自然コンテスト

福井市内のすばらしい自然に触れ合うことで、その美しさや大切さに気付いてもらい、自然環境保全について考えるきっかけとしてもらうことを目的に、写真作品コンテストを開催しました。



最優秀作品
「神の宿る場所」
撮影場所：福井市高田町鳴瀧

エネルギー・資源部会

●「グリーンカーテン」の設置

商店街の潤いや賑わいを創出し、さらに生活スタイルの低炭素を PR するため、西武福井店（正面）及びえちぜん鉄道福井駅（正面・東面）に「グリーンカーテン」を設置しました。



●企業交流会

事業活動に欠かせない物流分野における、環境にやさしい物流「グリーン物流」に関する学習会を開催し、最新の知見を会員企業及び市内事業者と共有しました。

環境教育部会

●みんなの環境学習（6講座）

市民を対象として、身近な環境に関するテーマについて講義を実施しました。

●児童館出前講座（10児童館10講座）

環境問題や環境保全に主体的に関わる能力や行動を育成することを目的に、市内児童館を対象として、電気・水・ごみについて講座を実施しました。

●青年向け講座（3講座）

グローバルな視点で地球温暖化やエコのことについて考えられる人材を育成することを目的に、青年を対象として、各国のエコ事情や環境について学ぶ講座を実施しました。

福井市環境推進会議が開催した各種コンテスト等の入賞作品をご紹介します。

「ふくい環境#CMコンテスト」 入賞作品

最優秀賞



「私にもできる CO2 削減」

優秀賞



「環境に優しくないあなたへ
～身の回りの自然～」



「雑がみはリサイクル」

※入賞作品の動画は、福井市環境政策課ホームページに掲載しています。

福井市のすばらしい自然コンテスト 入賞作品

最優秀賞



「神の宿る場所」
福井市高田町鳴瀧

優秀賞



「THE Japanese」
一乗谷朝倉氏遺跡



「秋色の海」
福井市小丹生町

特別賞



「悠久の一乗谷朝倉氏遺跡」
一乗谷朝倉氏遺跡



「ひまわり満開」
福井市高屋町



「黎明」
板垣 2 丁目 板垣橋

第3部 福井市の環境状況

1 自然環境

守り伝えたい福井市の優れた自然

福井市環境推進会議自然創造部会では、福井市の豊かな自然を守り育て、将来に伝えていくための取組を進めています。ここでは、同部会が毎年行っている「福井市の優れた自然調査」で、令和4年度に活動した場所を紹介します。

文殊山



みどころ

文殊山は、山麓の杉林を抜けると広葉樹林が広がり、鳥類が多く生息しています。また、春はカタクリ・ツバキの群生や遅桜、夏は緑、秋は紅葉と豊かな自然が登山者の心を癒し、ニホンカモシカなどの貴重な動物も生息しています。



令和4年11月に行った調査では、コゲラ、シジュウカラ、ヒヨドリなど9種類の野鳥を確認することができました。

「福井市のすばらしい自然コンテスト」撮影場所



◆高田町

本向寺や若宮淵といった歴史的に有名な場所が多くあります。また、「葉書」「言葉」の語源になっている多羅葉の木や不動明王が安置されている鳴瀧などがあり、豊かな自然があふれています。



◆一乗谷朝倉氏遺跡

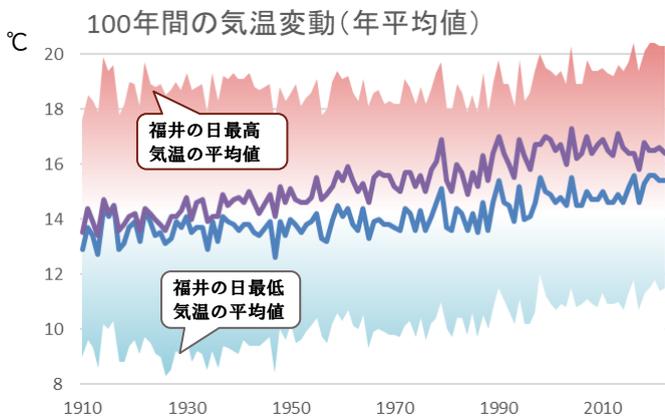
戦国時代の城下町全体が遺跡となって残された、全国でもまれな大規模遺跡です。国の「特別史跡」「特別名勝」「重要文化財」のすべての指定を受けています。

令和5年3月に、福井市のすばらしい自然コンテストの撮影場所をめぐり、身近な自然を感じることができました。

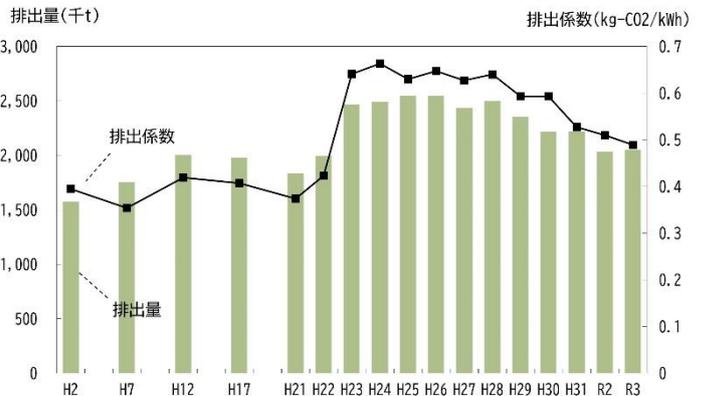
このほか、福井市環境政策課ホームページ内では、「守り伝えたい福井市の優れた自然」14カ所を紹介したパンフレットを掲載しています！

2 地球温暖化

温暖化の現状



福井市の温室効果ガス排出量



(平成26年度分からエネルギー消費統計の引用値を変更しました。)

福井においても、平均気温は上昇しており、全国同様温暖化の傾向にあります。
また、福井市における温室効果ガス排出量のうち、電力の消費に伴う分が半分程度を占めています。そのため排出係数の増加は温暖化効果ガスの排出の増加と連動しています。

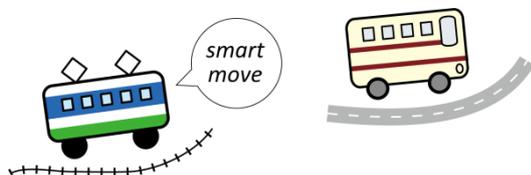
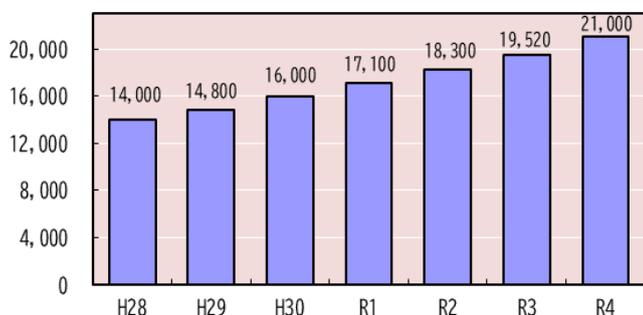
温室効果ガスの削減に向けた取組

太陽光発電設備導入量の増加

福井市では、平成13年度から28年度まで住宅用太陽光発電設備の設置に対する補助を行ってきました。平成28年度末までの累計補助実績は、2,574件(11,440kW)となっています。

国の再生可能エネルギーの買取制度による後押しもあり、補助終了後も、福井市の太陽光発電設備導入量は増加しています。

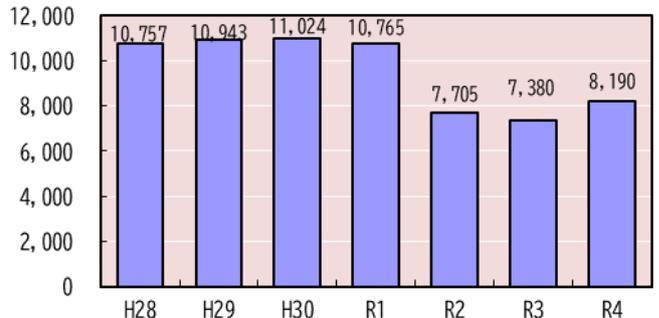
福井市の太陽光発電設備導入量



公共交通機関の利用促進活動

徒歩や自転車、公共交通機関を移動の中心とした環境負荷の少ない交通環境整備を進めています。

福井市の公共交通機関の乗車人数



※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休校や観光客の減少、外出自粛の影響を受けたため、乗車人数が大幅に減少しています。

また、令和3年度からは、JRを除いた集計方法に変更しています。

※発行時以降、データを変更する場合があります。

3 環境教育・啓発

福井市環境フェア

- ・開催日 令和4年11月3日（木・祝）
- ・場所 ハピテラス（福井市中央1丁目2-1）
- ・主催 福井市、福井市環境推進会議
- ・テーマ 「環境にやさしい持続可能なまちふくい」
- ・来場者数 約3,600名（延べ）



- ・内容
福井市環境保全功労者表彰
福井の環境#CM コンテスト
福井市のすばらしい自然コンテスト表彰
親子で巡ろう！フォトラリーinえち鉄・福鉄
まだまだ使えます！抽選会
あまみずドリンク試飲・販売
藤島高校ジャグリング部講演
FUT キッズ向け体験コーナー
（ものづくりワークショップやキッズバイク体験）
トレジャーハンター（環境に関するクイズラリー）
足羽山産竹工作
水素でわたがし作り
フードドライブ
市民組織、事業者、行政等の取り組み事例のパネル展示
オリーブの苗木プレゼント

みんなの環境学習

広く一般市民を対象に、環境に関する学習の場を提供しました。

- 【期間】 令和4年4月～令和5年3月
- 【回数】 全6回
- 【テーマ】 ①海藻染め講座～海藻でエコバッグを染めよう～
②グリーンカーテンで夏を COOL に過ごそう！
③ソーラーミニカーを作ろう！
④シーグラスで写真立てを作ろう！
in くにみクラゲ公民館
⑤足羽山の竹でミニ門松を作ろう！
⑥カブトムシの生態を学ぼう！



青年向け講座「世界を旅するエコトリッパー」

青年層を対象に、世界の環境に関する学習の場を提供しました。

講義やグループワークを通して、各国のエコ事情や環境について楽しく学びました。



- 【期間】 令和4年10月～令和5年3月
- 【回数】 全3回
- 【テーマ】 ①世界編 ②無印良品編 ③キルギス編

環境学習プログラム

福井市では、学校における環境教育や環境保全活動を効果的に進めることを目的として、平成18年度から「福井市学校版環境ISO認定制度」を運用し、平成26年度からは「持続可能な開発のための教育（ESD）」の視点を取り入れ、「環境学習プログラム」事業として、取組を発展させています。市内の市立幼・小・中学校全69校が本事業に参加し、各学校では、教員、児童・生徒が役割分担を行い、計画的な環境活動の取組を進めています。

4 大気

大気汚染については、二酸化窒素やベンゼン、ダイオキシン類等の11項目について環境基準が定められています（ダイオキシン類については、「8 化学物質」に記載）。

福井市内では、一般環境大気測定局3箇所（うち1局はクリーンセンター測定局も兼ねる）、自動車排出ガス測定局1箇所及びクリーンセンター測定局3箇所を設置し、環境基準の達成状況等を把握しています。また、緊急時に迅速かつ的確に対応できるように、これらの測定局と中央監視局を通信回線で結ぶテレメータシステムにより大気汚染状況を常時監視しています。

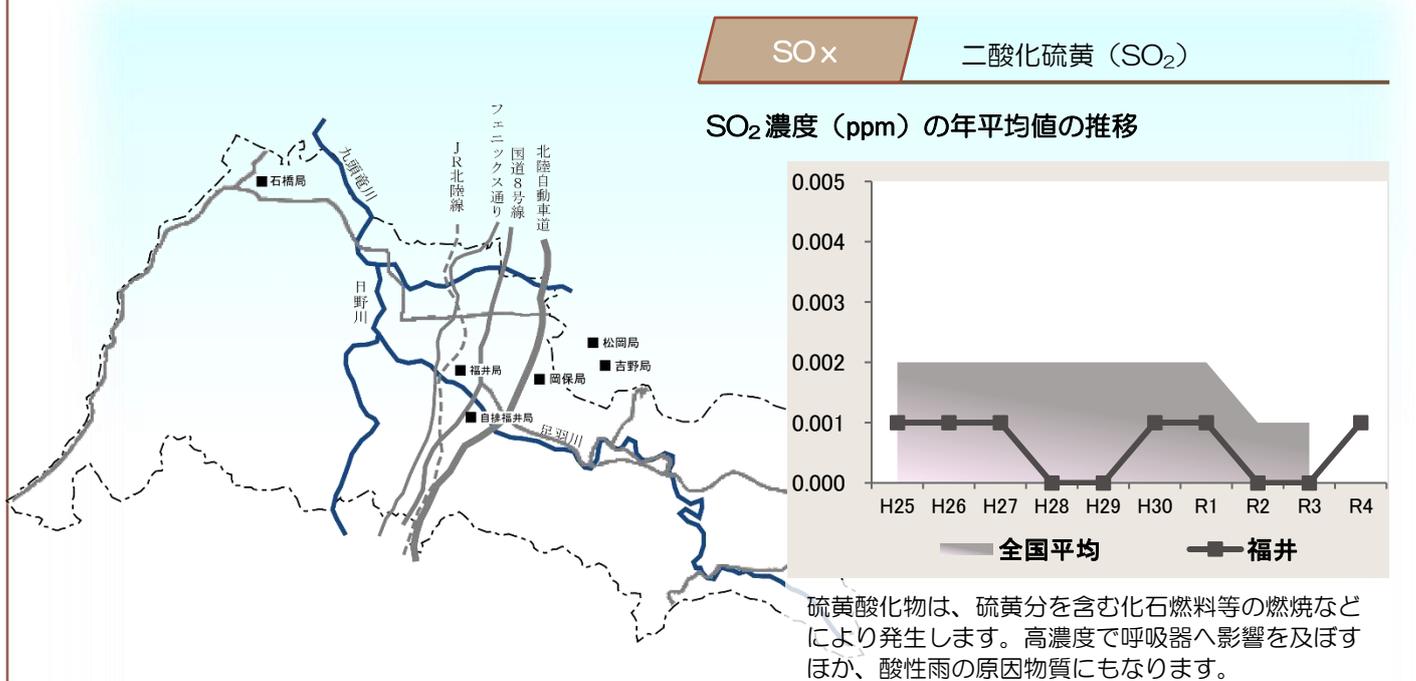
大気汚染に係る環境基準等

令和4年度における環境基準の達成状況は、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質について、全測定局で環境基準を達成しており、良好な大気環境が維持されています。

光化学オキシダントについては、全測定局で環境基準を超過しましたが、光化学オキシダント注意報の発令はありませんでした。なお、令和4年は、全国12都府県で注意報等が発令されました。

<令和4年度の環境基準達成状況>

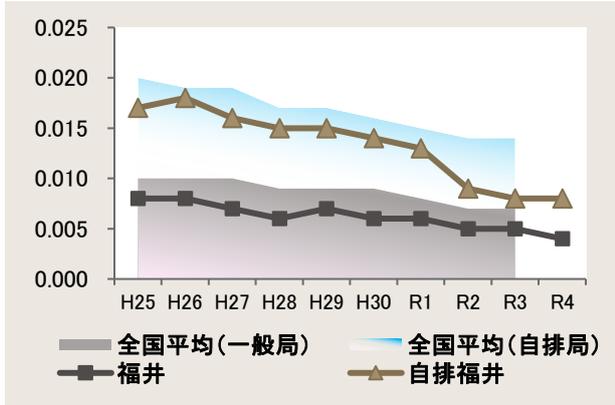
区分	局名	二酸化硫黄	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	オキシダント	微小粒子状物質
一般環境大気測定局	福井局	○	○	○	×	○
	石橋局	○	○	○	—	—
	岡保局	○	○	○	×	—
自動車排出ガス測定局	自排福井局	—	○	○	—	○



NO_x

二酸化窒素 (NO₂)

NO₂濃度 (ppm) の年平均値の推移

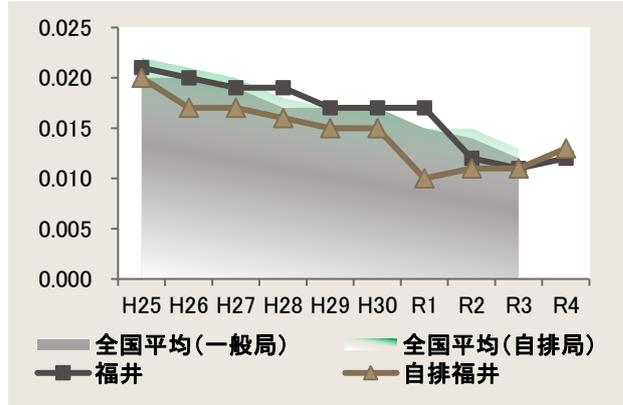


窒素酸化物は、主に化石燃料の燃焼に伴い、燃料又は空気中の窒素が酸化されることにより発生します。暖房用に燃料が多く使用される冬に濃度が高くなる傾向があります。

SPM

浮遊粒子状物質

SPM濃度 (mg/m³) の年平均値の推移

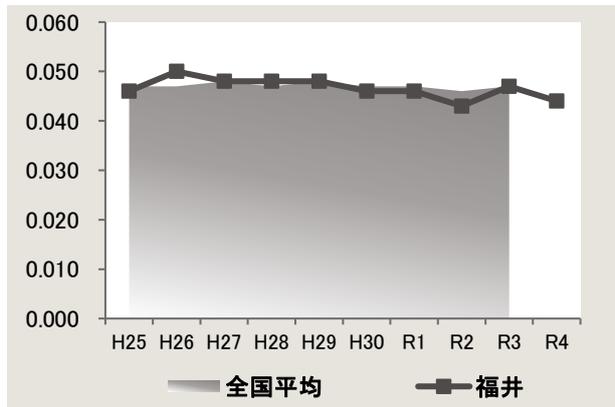


浮遊粒子状物質は、工場のばい煙や自動車の排ガス等から発生し、気道や肺胞に沈着して呼吸器に影響を及ぼすといわれています。

O_x

光化学オキシダント

オキシダント濃度 (昼間の日最高1時間値: ppm) の年平均値の推移



光化学オキシダントは、工場の煙や自動車の排ガスなどに含まれている窒素酸化物 (NO_x) や炭化水素 (HC)、揮発性有機化合物 (VOC) などが、太陽からの紫外線を受けて光化学反応を起こして生成される、酸化力の強い物質の総称です。

光化学オキシダントの濃度が高くなると、目やのどに刺激を与え、「目がチカチカする」「のどが痛い」等の健康被害がみられることがあります。

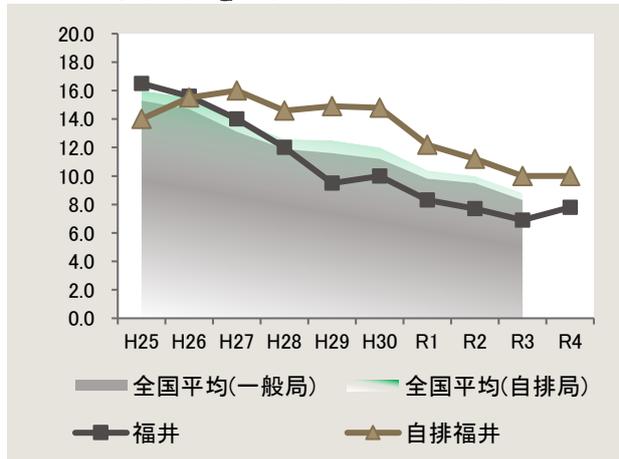
日差しが強い、気温が高い、風が弱い日などに高濃度になりやすく、注意が必要です。



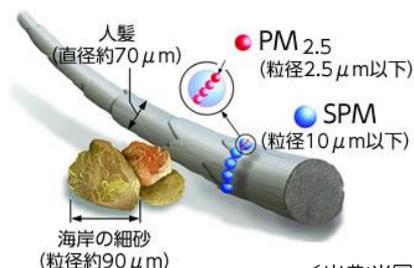
PM_{2.5}

微小粒子状物質

PM_{2.5}濃度 (μg/m³) の年平均値の推移



PM_{2.5}は、大気中に浮遊する粒子のうち、直径が2.5 μm以下 (1 μmは1 mmの千分の1) のごく小さな粒子です。粒子が非常に小さい (髪の毛の太さの30分の1) ため、肺の奥深くまで入りやすく、喘息や気管支炎などの呼吸器系疾患への影響のほか、肺がんのリスクの上昇や循環器系への影響も懸念されています。



<出典:米国 EPA>

有害大気汚染物質の状況

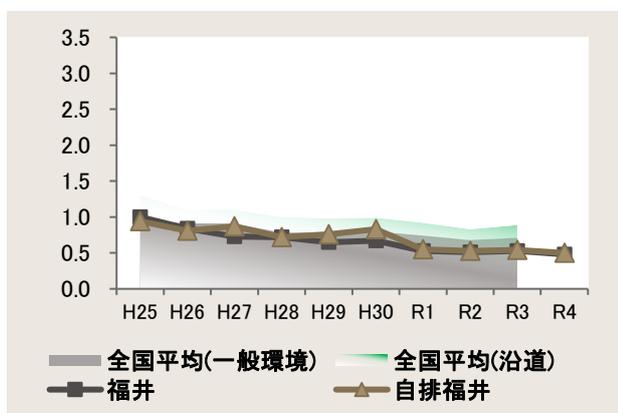
令和4年度は、優先取組物質 23 物質のうち、六価クロム^{※1}及びダイオキシン類^{※2}を除く 21 物質について調査^{※3}を実施しています。

環境基準が定められている 4 物質及び指針値が定められている 11 物質について、環境基準値及び指針値を超過した物質はありませんでした。

- ※1 六価クロムは、形態別の分析方法が確立していないことから、クロム及びその化合物として分析
- ※2 ダイオキシン類の調査結果については、「8 化学物質」に記載
- ※3 平成 30 年度までは、県が調査を実施

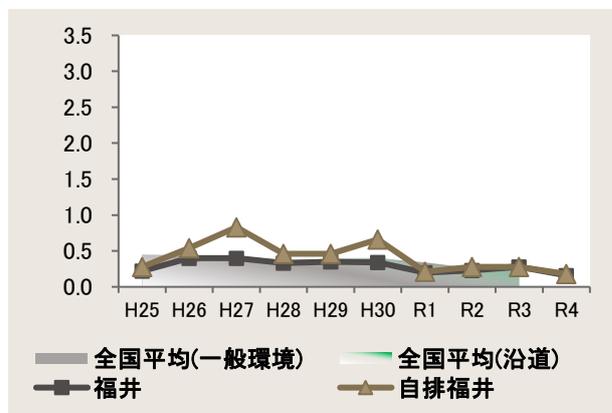
ベンゼン

環境基準：3.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$



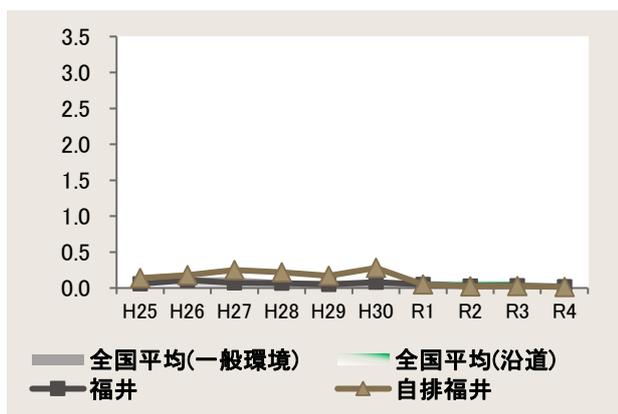
トリクロロエチレン

環境基準：130 $\mu\text{g}/\text{m}^3$



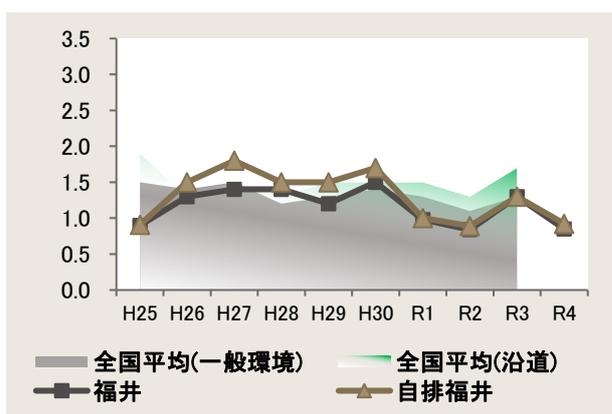
テトラクロロエチレン

環境基準：200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$



ジクロロメタン

環境基準：150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$



5 公共用水域の水質

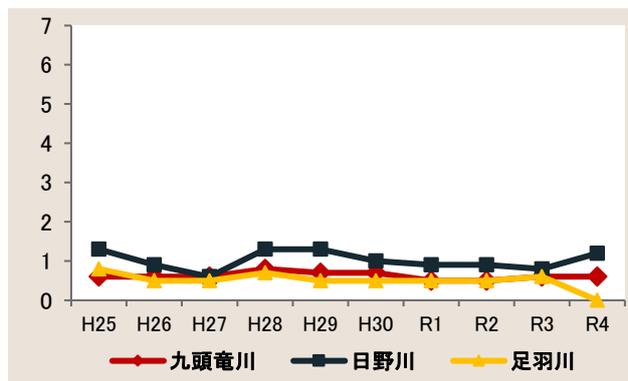
福井市では、市内 14 河川 19 地点及び地先海域 7 地点において、環境基準項目及び要監視項目の水質検査を定期的の実施しています。

令和 4 年度における環境基準の達成状況は、「人の健康の保護に関する環境基準」については、すべての調査地点で基準を満たしていました。また、BOD や COD などの「生活環境の保護に関する環境基準」については、類型指定された河川及び海域において、ほぼ基準を満たしていました。

河川

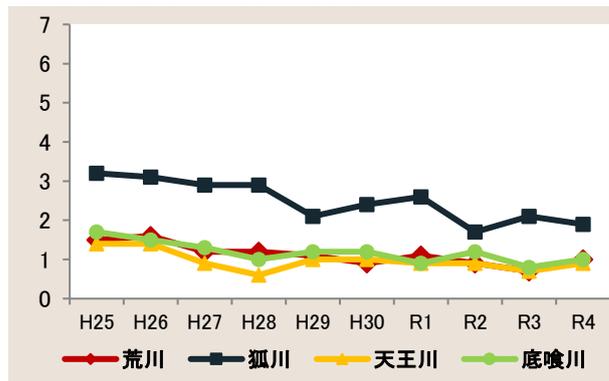
BOD の年度 75% 値 (mg/L)

九頭竜川、日野川、足羽川



九頭竜川水系の主要河川（九頭竜川、日野川、足羽川）の BOD については、環境基準を満たした低い値で推移しており、良好な水質が維持されています。

荒川、狐川、天王川、底喰川

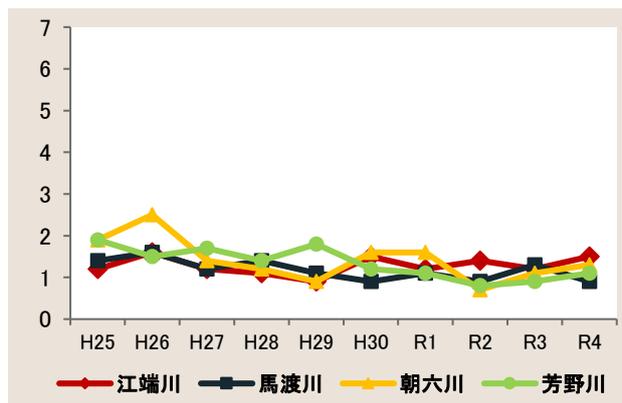


九頭竜川水系の支派川（類型指定あり）の BOD については、年々きれいになっており、環境基準を満たした良好な水質となっています。

河川

BOD の年度 75% 値 (mg/L)

江端川、馬渡川、朝六川、芳野川

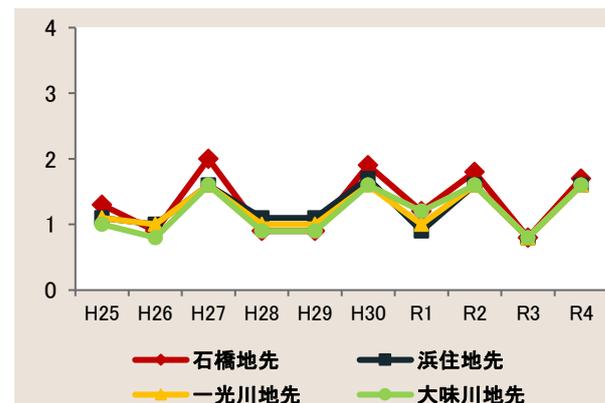


九頭竜川水系の支派川（類型指定なし）の BOD についても、他の支派川と同じように年々きれいになっており、良好な水質となっています。

海域

COD の年度 75% 値 (mg/L)

石橋地先、浜住地先、一光川地先、大味川地先



海域の COD については、環境基準を満たしており、良好な水質が維持されています。

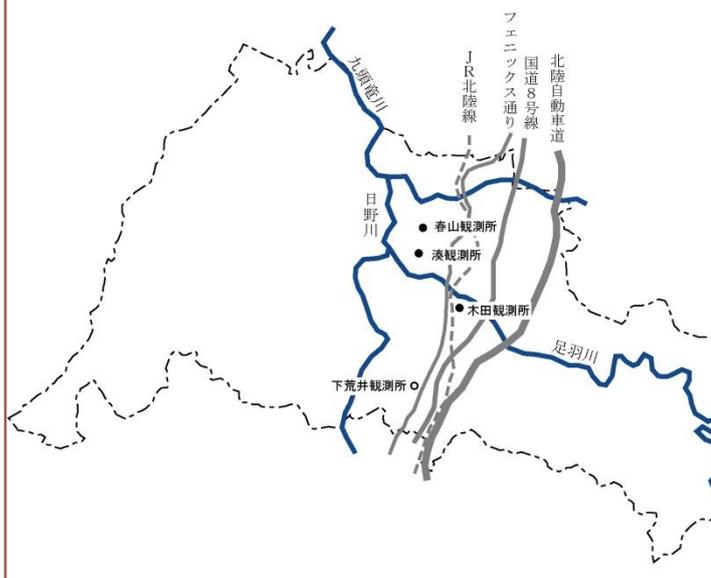
BOD：河川の水質汚濁の度合いを示すもので、この数値が大きいほど河川が汚れていることを表します。
COD：海域・湖沼の水質汚濁の度合いを示すもので、BOD 同様、この数値が大きいほど海域等が汚れていることを表します。

6 地盤沈下

地盤沈下は、大量の地下水を汲み上げることにより、帯水層の水圧が下がり、これによって粘土層中の水がしぼり出され、その結果、粘土層が収縮するため起こるとされています。

地盤沈下・地下水位の観測

福井市では、昭和40年頃から下荒井などの南部地域において地盤沈下が認められており、福井県と協力して、昭和51年度から地盤沈下と地下水位の観測を行っています。

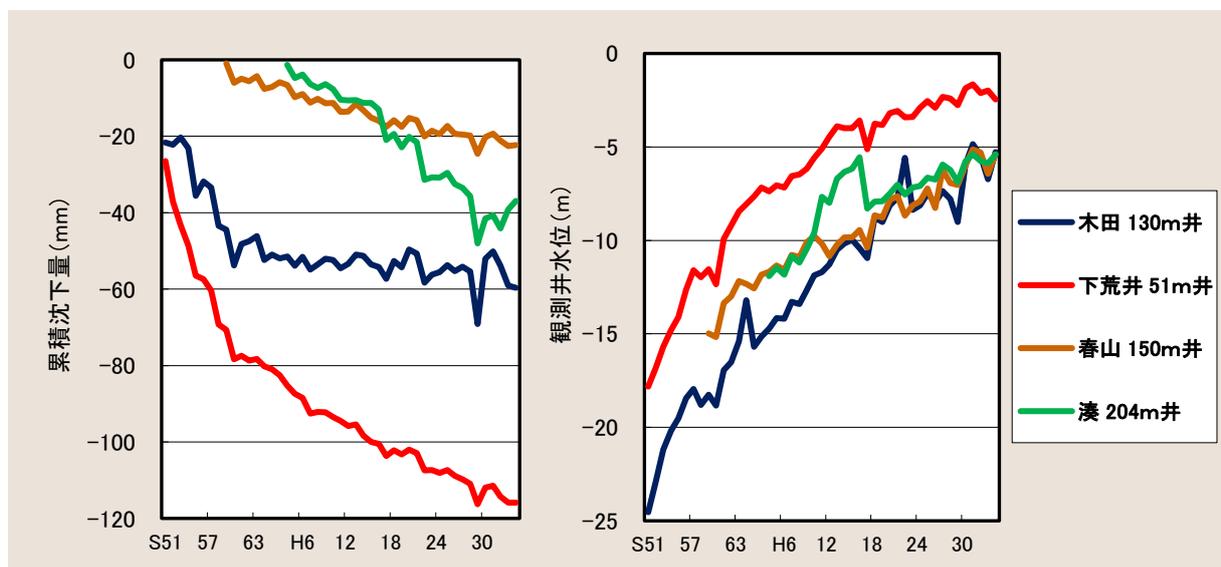


観測所名	所在地	井戸深度	設置者
木田観測所	明倫中学校敷地内	28m	県
		130m	市
下荒井観測所	八幡神社境内	51m	県
春山観測所	春山小学校敷地内	43m	市
		150m	市
湊観測所	湊小学校敷地内	204m	市

地盤沈下・地下水位の経年変化

昭和60年頃から地盤沈下は沈静化しています。これは、工場などの地下水使用量の減少などにより、地下水位が回復してきているためです。

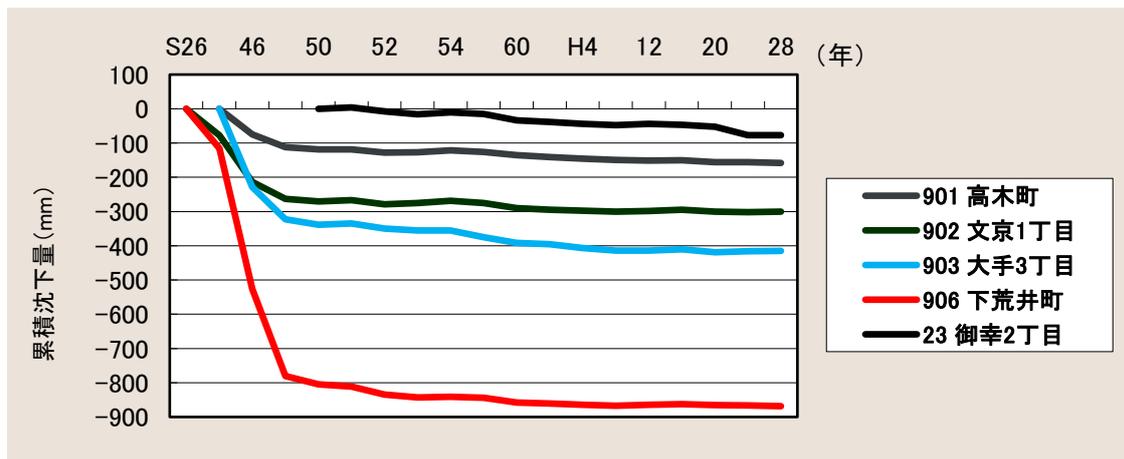
しかし、消雪目的の地下水利用により冬季に地下水位が低下するため、現在も少しずつ地盤が沈下しています。なお、平成29年度は大雪の影響により、例年よりも大きな地盤の沈下が見られました。



水準測量による地盤変動の現況

福井市では、国、福井県の実施に合わせて水準測量を実施しています。

昭和 50 年頃までは、下荒井などの南部地域において年間 1 cm 以上の水準点の沈下が観測されましたが、平成 4 年度以降の測定では、ほとんどの地点において年間 5 mm 未満の沈下量であり、市内の地盤沈下は総じて沈静化しているといえます。



7 騒音

福井市では、道路に面する地域において、環境基準の達成状況の調査を行っています。令和 4 年度の調査結果は、次のとおりです。

道路に面する地域の騒音調査結果

幹線道路から 50m の範囲にあるすべての住居等を対象に、実測値や交通量等のデータから、個別住居ごとの自動車騒音レベルを推計し、環境基準を超過する住居等の割合を評価しています。市内の幹線道路 5 路線 8 評価区間で調査を行ったところ、環境基準達成率は 100.0% でした。

評価対象 住居等戸数 (戸)	環境基準達成率 (%)		
	昼間+夜間	昼間	夜間
1,904	100.0	100.0	100.0



8 化学物質

福井市では、ダイオキシン類について、大気、公共用水域の水質・底質、地下水及び土壌それぞれの環境媒体における環境基準の達成状況の調査を行っています。

ダイオキシン類調査結果

令和4年度の調査結果は、次のとおりです。いずれの媒体においても、すべての地点で環境基準を達成していました。

大気

単位：pg -TEQ/m³

調査地点		測定値	環境基準
一般地域	豊島2丁目	0.030	0.6
発生源周辺地域	安波賀町	0.18	

公共用水域

単位：pg -TEQ/L（水質）、pg -TEQ/g（底質）

調査地点		測定値		環境基準
		水質	底質	
日野川	清水山橋	0.071	0.46	水質：1 底質：150
足羽川	水越橋	0.10	0.30	
底喰川	西野橋	0.067	0.65	
八ヶ川	高江橋	0.085	1.5	
馬渡川	末端	0.28	0.85	
荒川	水門	0.31	0.58	
天王川	末端	0.11	0.36	
狐川	狐橋	0.078	3.4	
江端川	江守橋	0.089	0.42	

地下水

単位：pg -TEQ/L

調査地点		測定値	環境基準
発生源周辺地域	笹谷町	0.044	1

土壌

単位：pg -TEQ/g

調査地点		測定値	環境基準
発生源周辺地域	白滝町	9.5	1,000

※ 測定値及び環境基準は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラ-ジオキシンの毒性に換算した値（毒性等量：TEQ）

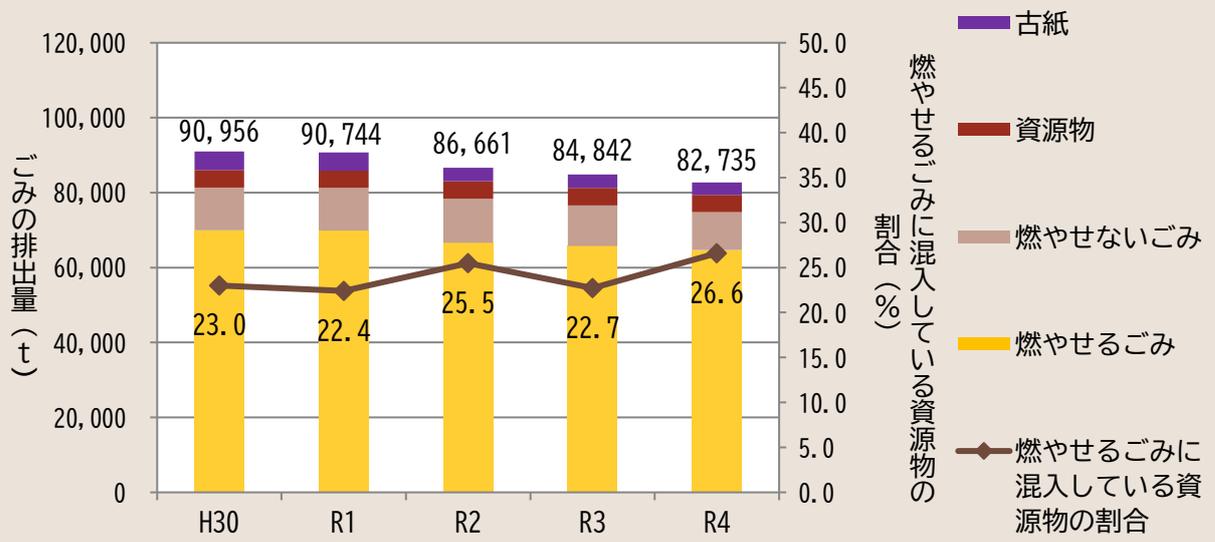
9 ごみの排出と処理状況

福井市のごみ処理

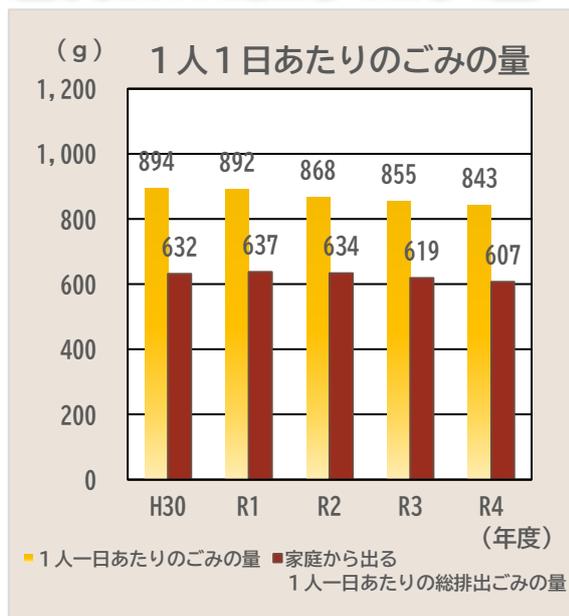
令和4年度のごみ総排出量は、82,735tで、前年度に比べ2,107t（2.48%）の減少となり、従来からの減少傾向が続いています。また、燃やせるごみに混入している資源物の割合は、26.6%と前年度に比べ3.9ポイント増加しました。

「福井市資源物及び廃棄物（ごみ）処理基本計画」に掲げているとおり、「リサイクル」の取組に加え、ごみの発生抑制「リデュース」、不要物の再利用「リユース」に取り組むことにより、廃棄物そのものの削減を引き続き図っていかねばなりません。

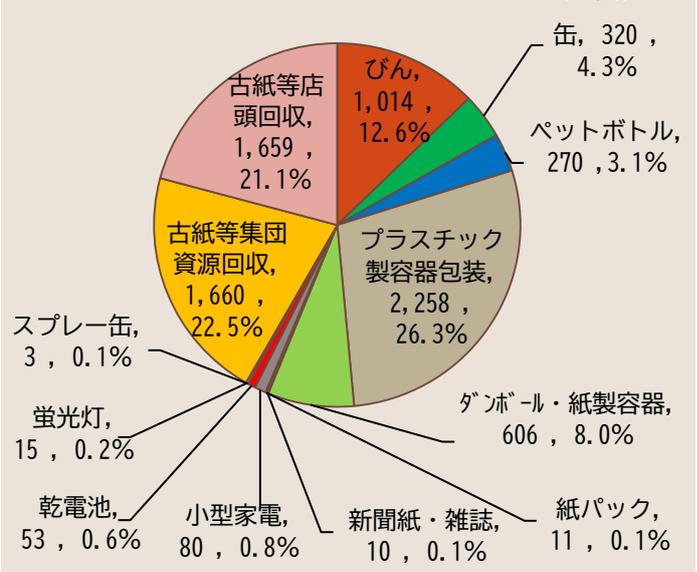
ごみの排出量・燃やせるごみに混入している資源物の割合の推移



福井市民1人あたりのごみの量



資源物排出量の内訳 (R4年度) (t, %)



福井市では、令和5年度までに市民1人1日あたりのごみ排出量を850gにすることを目標に掲げており、令和4年度に目標を達成しました。更なるごみの削減のため、市民・事業者・行政が協働して取組んでいく必要があります。

10 美しいまちづくり

都市環境の美化

- ◎ポイ捨てはやめよう！
- ◎ふんの始末は飼い主が、責任をもって処分しましょう！
- ◎自動販売機には回収容器を設置しましょう！

重点区域



重点区域内で条例に違反する行為を行った人に対しては、市長が勧告や命令を行い、命令に従わない場合には、罰金、過料を課すことができます。

重点区域内の福井駅周辺において、ポイ捨て防止を啓発する活動を実施しています。



福井市空き缶等の散乱及びふん害の防止に関する条例

目的：都市環境の美化を図り市民の快適な生活を確保し、清潔で美しいまちをつくる
対象者：事業者（容器入り飲料、タバコ、チューインガムの製造者及びこれらの商品の販売者）

市民等（市内居住者、勤務者、滞在者及び市内を通過する人）

責務：重点地域における自動販売機設置者は、回収容器を設置し、適正に管理しなければならない

市民等は、自分で出した空き缶などは持ち帰るか、回収容器や吸殻入れ等に入れなければならない

飼い主は、重点地域内で飼い犬等がふんをしたときには、直ちに回収しなければならない

区域：福井市全域



啓発活動の様子（令和3年12月）

不法投棄対策

★不法投棄防止パトロール

山間部や高速道路脇など、通常人の目が届きにくい所のパトロールを行っています。

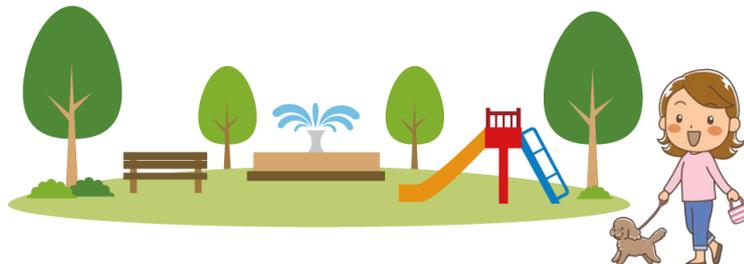
★監視カメラの設置

目的：不法投棄の未然防止、不法投棄があった場合の行為者の特定

設置場所：山間部の道路沿い、山林・河川敷等で不法投棄が多発している場所、不法投棄が拡大するおそれがある場所 など

その他

- ★空き地等の清潔保持
- ★動物（犬・猫等）の死体処理
- ★野外焼却の指導





1 清掃事業概要のご案内！

本誌中に記載しました福井市の清掃事業の詳細につきましては、福井市環境政策課のホームページに「令和5年度 福井市清掃事業概要」を掲載します。どうぞ、ご活用ください。

2 表紙の写真について

表紙に掲載しました写真につきまして、提供元等は下記のとおりです。
(表紙写真：ニホンカモシカ 提供：福井市自然史博物館職員)



ふくいの環境 (令和5年度版)

令和6年3月発行

福井市市民生活部環境事務所環境政策課

〒910-8511
福井県福井市大手3丁目10番1号

TEL 0776-20-5609 FAX 0776-20-5754

E-mail : kansei@city.fukui.lg.jp

